

新型コロナウイルス感染症対策特集 海外トピックス【臨時版】

VOL. 03

■ 世界中で感染拡大している新型コロナウイルス感染症。特徴ある対策を実施している国や駐在員事務所のある国・地域を中心に、各国の「今」をお伝えする、駐在員トピックス臨時版です。各事務所から情報が届き次第、随時発行します。

シンガポール | 社会制限（サーキットブレーカー）措置の段階的緩和

韓国 | 自宅等隔離者への支援物資の支給

台湾 | 施設における検温、多言語での防疫に関する啓発

1 要旨

シンガポールにて4月7日から6月1日までの予定で実施されている社会制限（C B：サーキットブレーカー）措置について、国内の一般感染者数が減少しているため、経済活動やコミュニティ活動を安全かつ段階的に再開させることを目的としてシンガポール政府から緩和措置の計画が示された。今後、日本国内でも検討が予想される段階的緩和措置の参考となると思われるため報告する。

2 内容

(1) 職場・経済の段階的緩和

- ※ 安全管理要件を満たすことを条件に一部の職場・経済活動の再開を許可。
- ※ 医療、スーパーマーケット、飲食店（食事のテイクアウトやデリバリーのみ）、銀行などについては、C B措置期間中も営業が許可されている。

日程	再開される活動やサービスの概要
5/5	(a) 鍼灸師（中国伝統医学針治療） <ul style="list-style-type: none"> ・ 中医学の医師が必要不可欠と判断した場合で痛みを緩和する目的に限る ・ 関連商品（漢方薬など）の販売も可 (b) コンドミニウム（高級マンション）居住者による歩道等の居住者専用の共有空間スペースでの運動。ただし、コンドミニウム内の公園、プール、ジム、バーベキュー施設、クラブハウス等は引き続き閉鎖
5/12	菓子類の製造、店での調理、ランドリーサービス、基本的な散髪を行う理髪店、美容店、ペット用品販売店 ※5/12以降、活動するすべての企業、サービスは従業員、訪問者の入退出を記録する Safe Entry システム（※詳細は(2)に記載）の導入を義務付け
5/19以降	(a) 教育現場では、卒業年次の生徒、授業に学校施設や実技指導が必要な生徒及び休校中に追加支援や補講が必要な生徒を優先して再開 (b) 高等教育機関（大学や専門学校など）、特に技術教育機関は重要な指導、プロジェクト、演習科目のため少人数の生徒の通学を再開 <ul style="list-style-type: none"> ・ 通学する生徒は時差通学を実施し、個別グループに分かれて学習 ※サーキットブレーカー期間中は在宅学習により教育を実施

※ 運営が許可される活動のリストと関連情報は以下のサイトにて更新

<https://covid.gobusiness.gov.sg/essentialservices>

(2) デジタルソリューションの普及及び活用

政府はC B措置を緩和して活動を再開する際には、以下のようなデジタルソリューシ

ョンをより普及させて活動を管理しながら段階的に緩和を拡大していくことを明言している。

○チェックインシステム「Safe Entry」

- ・スーパー、ショッピングモール、商業ビル、オフィス、公共施設など人の集まる場所を訪れる人の個人番号、氏名、携帯電話番号をネットを介して記録するシステム
- ・政府が開発し、店舗や企業などに対してシステムの導入を義務化
- ・利用者は、ビルや店舗の入り口に表示されたQRコードを携帯電話でスキャンして、登録が完了すれば入場が可能
- ・携帯電話を持っていないなどシステムを利用しない人は、個人番号、運転免許証、学生証、労働許可証などのバーコードのついた身分証明書を入り口にいる係員に提示、スキャンして登録が完了すれば入場することが可能
- ・今後は地下鉄や公園などを一時的に通過する際にもQRコードをスキャンするよう推奨される見通し



○追跡調査アプリ「Trace Together」

- ・政府が開発したアプリ。迅速かつ効果的に接触者追跡調査を行うためのもの。
- ・同アプリをダウンロードしたスマートフォン同士が近づくと、端末ごとに割り振られたIDを近距離無線通信規格「ブルートゥース」を通じて交換し、近くにいたユーザーのIDが自動的に記録される。
- ・感染が確認された人がアプリの利用者である場合、保健省の職員が本人の同意を得た上で、アプリ上の記録を保健省のサーバーと照合。感染者の近くにいたことが記録されている端末の所有者に連絡を取り、必要な措置を講じる。
- ・政府は、同アプリのソースコードを無料で公開、世界中で利用できるようにする方針。
- ・個人情報保護の観点では検証が必要な可能性もあると考えられる。



1 要旨

韓国では、入国者及び感染者との濃厚接触者に、位置情報の提供、健康状態の報告及び14日間の自宅等での隔離が義務付けられている。隔離者には自治体が衛生用品や食品などの支援物資を配布し、隔離支援及び感染拡大防止を行っている。

2 支援物資の概要

区 分	内 容
制度の実施者	市、郡（日本の町にあたる）、区
配布対象	自宅やホテルでの隔離者（入国者、感染者との濃厚接触者）
配布方法	自治体職員等が配送（接触を防ぐため玄関前に置く）
配布回数	自治体によるが、麻浦区の場合、衛生用品1回、食品又は現金（振込）1回
支援物資の内容	<ul style="list-style-type: none"> 衛生用品（ゴミ袋、消毒薬、マスク、体温計、アルコール消毒ハンドジェル、トイレットペーパー） 食品（水、米、海苔、缶詰、レトルト、ラーメン等（10万 won（約9500円程度）） <p>*自治体により内容は異なる。食品ではなく、支援金10万 won が送金される又は選択制のところもある。</p>
メリット	<ul style="list-style-type: none"> 隔離者は、必要な物品や食糧が届けられるため、外出する必要がない。心のサポートにもつながる。 自治体にとって、隔離者が隔離に協力することで地域での感染拡大を防止できる。
その他	<ul style="list-style-type: none"> 空港から隔離先への送迎（有料）を行っているため、入国時に入国管理局と自治体が連絡を取っており、自治体に速やかに入国者の情報が伝わっている。 入国者は、入国時に携帯番号の登録、管理隔離アプリのダウンロードを求められる。 隔離期間中は、1日2回、区や市からの電話確認がある。（携帯の位置確認アプリでの追跡を防ぐため、意図的に携帯を置いて、出かけてしまうケースを防ぐ）

<支援物資の例>



1 主旨

新型コロナウイルスによる感染症対策において、台湾における取組みから、日本国内（静岡県内）でも実行可能と思われるものを紹介する。

2 台湾における取組事例

(1) 施設における検温

ア 目的

公共施設・オフィスビル等の建築物及び公共交通機関を利用する際に、感染を未然に防ぐため、利用前に検温・マスク着用の確認及び手の消毒を実施する。

イ 実施方法

施設の入口、改札などにおいて、入口・出口を限定し、動線を分け、利用者が入る（利用）前に検温とマスク着用を確認し、入る（利用）場合は、手を消毒する（体温が37.5度以上もしくはマスク着用していない場合には、利用を断る）。

施設によっては、利用者の氏名・電話番号などの個人情報を記録することを義務付け、万が一、感染の疑いがある場合は連絡が取れるように備えている。



↑ 鉄道、地下鉄の改札口で乗車前に検温



↑ 事務所入居ビル入口での検温



← 台北市内のカフェ

（マスク着用を呼び掛ける貼り紙）



←台北市内の百貨店

(入口・出口の動線を分け、検温・マスク着用の確認及び手の消毒を行っている)



↑台北市内の博物館入口

(アプリケーションをダウンロードし氏名・連絡先を入力。入口で係員に入力完成画面を提示。情報は博物館のサーバーに蓄積)



↑アプリケーション入力画面

(2) 多言語での防疫に関する啓発

ア 目的

東南アジア諸国等からの外国人労働者等に向けた新型コロナウイルスによる感染症に関する正しい理解と対策等に係る啓発をSNS等のメディアを通じて発信する。防疫の取組みに関する言葉の壁を可能な限り低くすることによって、外国人一人ひとりの不安を取り除き、早期のリカバリーにつながることを期待。



イ 背景とポイント

65万人以上いる台湾における外国人労働者（2020年3月、移民署統計）の多くは、インドネシア、ベトナム、フィリピン、タイ、ミャンマー等の東南アジア諸国の出身である。衛生福利部疾病管制署は、防疫について特に重要な情報を中国語のほか、上記の国々の言語でも発信している（字幕付き。上図はベトナム語）。

ウ 関連情報

衛生福利部疾病管制署「防疫大作戦」

<https://www.cdc.gov.tw/Advocacy/SubIndex/2xHloQ6fXNagOKPnayrjgQ?diseaseId=N6XvFa1YP9CXYdB0kNSA9A>

（内容）正しいマスクの着用法

ソーシャルディスタンスの解説と協力の呼び掛け 等

例：手洗いの方法（各言語の字幕表示）

英語

https://www.youtube.com/watch?time_continue=2&v=DGAdvQRoHr4&feature=emb_logo

インドネシア

https://www.youtube.com/watch?time_continue=1&v=B8Sf7KD6nWU&feature=emb_logo

ベトナム

https://www.youtube.com/watch?time_continue=2&v=A1F90aYkLmM&feature=emb_logo

フィリピン

https://www.youtube.com/watch?time_continue=5&v=mF0nis4ZwMA&feature=emb_logo

タイ

https://www.youtube.com/watch?v=6ihmHpHRbeg&feature=emb_logo

ミャンマー

https://www.youtube.com/watch?time_continue=2&v=tZZ10JoSxec&feature=emb_logo

マレーシア

https://www.youtube.com/watch?time_continue=5&v=QoDuUzBEpvc&feature=emb_logo